

力を入れてもらっていつてもらいたいと思います。

あと、ちょっと見てもらいたいものがある、これですね、私を含め、対馬を愛する有志メンバーで立ち上げた会で、このようなものをちょっと作成したんですよね。これです。細かく、これはもうただ見てもらうだけなんです、これ対馬が抱える様々な問題に対し、仲間たちと多角的に意見を出し合い、それぞれの要素がどのようにプラスに働き、あるいはマイナスに転じ得るかという因果関係を解き明かして作成しました。

まだこれ途中ですが、このループ図に対馬が抱える具体的な問題を当てはめることで、様々な解決の糸口を解き明かしていけるんじゃないかなと思っております。これはもう市への協力の姿勢なんで、そして、やっぱり情報発信として、対馬でも仕事だけではなく、暮らしの全体のイメージが見える情報発信も強化していただいて、移住のハードルを下げて、来やすいまちですよということを、またいろいろ発信していつてほしいと思います。

また、これ手で申しわけないんですけど、その辺に関しても、初めての離島、そういうコンセプトで、日本の神秘的な聖地として認められ、一生に一度は訪れたい場所になる、またこういったいろんな方向性から情報発信をして、対馬の魅力をどんどん伝えたいと思っております。これに関しては、やはり観光交流商工課さんや総務課さんでも、我々も協力していきたいと思うんで、どんどんこれから対馬の発展のために、お互い手を取り合って頑張っていきましょう。よろしくをお願いします。

我々だけじゃなくて、やっぱり市民の皆さんにも少しだけ先の未来を考えてもらいたいんですけど、少しだけ先の未来を考えてください。

まず、あなたは2040年の毎日を過ごしています。2040年の対馬はどうなっていて、あなたは何をしていますでしょうか。今現在のあなたに話してみてください。

これで、私の本日の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（春田 新一君） これで、東圭一君の質問は終わりました。

○議長（春田 新一君） 暫時休憩します。再開を11時5分からとします。

午前10時50分休憩

午前11時05分再開

○議長（春田 新一君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。6番、佐伯達也君。

○議員（6番 佐伯 達也君） 改めましておはようございます。会派對馬の風、6番議員、佐伯でございます。ぜひよろしくお願いいたします。さきの5月18日の対馬市議会議員一般選挙に

おきまして、対馬市民984名の負託を受けまして、このたび当選することができました。誠にありがとうございました。市議会議員として、市民の方々の御意見、御要望、またいろんなお困り事を聞き、よりよい対馬にしていくために、議会と執行部が互いに緊張感を持った上で、対馬市のため、また市民のために共に汗をかくことができる関係でありたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、今後の議会議員の活動におきまして、今回、この3日間の一般質問の中でもたびたび問題として提起されております少子高齢化、または人口減少問題、また喫緊の取り組むべき課題としてあります国境離島新法の拡大と延長についてもいろんな形で検討をし、どうしたら前に進めるのか、どうしたらいい形で進むことができるのか、できる方法をいろんな視点で議員活動として取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

それでは、通告に従いまして質問に入らせていただきたいと思います。

1番目の観光地整備と安全対策についてという件でございますが、①といたしまして、金田城には近年多くの観光客に来ていただいている状況でございます。非常に駐車場が不足しているという話も聞いておりますし、それを解消に向けた市の取組がどのようにされているのか、どのような検討がなされているのかということをお伺いしたいと思っております。この件につきまして、対馬の観光地整備についていろんな問題がありますけれども、まずは私、観光地と言いましてもまず私非常に身近なところに住んでおりますので、その点から質問させていただきたいと思っております。

金田城の登山口といいましても、県道沿いにある部分も登山口という表現をする場合もありますし、県道から1.5キロぐらい入ったところにちょうど車が、現状であれば通常の場所であれば3、4台が止められるようなスペースはある部分があります。ところが、その先にも、今、トレカーとかが置いてあるようなスペースがありますので、そういったところもありますので、ある程度の数は止められるんですけども、今いろんな意味で対馬の観光及びいろんな形で脚光を浴びておりますので、金田城登山口の、その駐車場が足りないというような状況が発生しているようです。コロナ禍前には韓国人観光客が40万人というとてもない人数の方に来ていただいていたんですけども、その時点では、この場所、金田城の登山口の駐車場が足りないというような状況は耳にしたことはございませんでした。コロナ禍、2019年の暮れから2020年の春先にかけてコロナ禍が始まりまして、その結果として、宿泊施設や飲食業界が一番大きな打撃を受けたというような状況が発生したことにより、全国的に日本全体として取り組んでいただきましたGo To トラベル事業や対馬を特集した番組、これはテレビが中心ですけども、対馬を特集した番組等、多く放送をいただいた結果として、海外、また1つの要因としては、海外旅行がしにくいという状況も同時に発生をしたようにあります。その結果、多くの国内観光客が対

馬に来ていただくような結果となりました。その結果として駐車場が足りないような状況が、極端に言いますと、常に、常時そういった状況が発生しているというわけではないんですけども、現実的には週末とか、またゴールデンウィークとかお盆の時期とか秋口の登山シーズンに限ってになってはくと思います。常時ではないとは思いますが非常に混雑し、そのような状況の中で、2台、3台とかが停めてあると、停め方にもよるとは思うんですけども、非常に切り返しがしにくいような状況が発生したりとか、そういった状況の中で、最近ですね先月か先々月のようですけども脱輪をしたりとか、そういったことが発生して、やっぱりその駐車場の確保が必要じゃないかということ、これは観光に携わる人たちの中からも声が上がっておりますので、そういったことを質問をしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして②といたしまして、金田城及びこれは白嶽に対する登山も含めてなんですけども、登山客の増加に伴い、過去においても遭難等の事故が発生しており、安全性の確保のための対策が必要と考えてはおりますが、これに対する今後の対応策を市長のほうにお伺いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

この件につきましても対馬南署のほうにも確認をいたしましたところ、令和5年においては、南署に届出があった事故が3件、令和6年は2件、令和7年が今のところ1件ということでお伺いしております。また、いろんな形でツアーとして登山をされる方たちもいますけども、そのツアーのガイドとか、または対馬の方で対馬出身の方でいろんなガイドをしていただく方がいらっしゃるんですけども、そういった方々にお話を聞かしても、実際、大きな警察に通報するような状況にはならないんですけども、やっぱりこけたりけがをしたり、また実際には大きな骨折というような状況は、多分市にも通報がないような状況の中で、そういったことが起こっているようであります。そういった中で、こういった形でその安全、そういったことを連絡が取れる状況がない環境、城山におきましても、金田城におきましても白嶽におきましても、麓の方から登っていった頂上部分では、連絡が取りやすい環境が実際あるのが現状なんですけども、麓から登っていく、ほぼ頂上の手前のところまでぐらいいは電波が届かない状況がほとんどだと、そういった中で、これに対しての対応策というものを考えか、何か対馬市として検討をいただけないかということをお願いをしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、2点目といたしまして、県道24号線の箕形吹崎間また吹崎加志間のトンネル工事についてということをお伺いしたいと思っております。まず、1番目ですけども箕形吹崎間の工事の進捗状況と開通の予定及びトンネル完成後の吹崎側から加志について、取付道路が必要になってくるような状況になるのかなと思っておりますので、そういった状況がどのように推移するのかということをお伺いしたいんですけども、本来、この質問に関しては、県道24号線ということもありまして、対馬市にとっては管轄外だということでは理解はしております。ところ

がこの問題を今回いろんな意味で今日いらっしゃる方、選挙が終えて、まず1回目の議会ですので、そういった、東議員も先ほど言われましたけども、いろんな市民の声を聞いた形でこの一般質問に向かっている人たちが多かったのかなと思います。そういった意味で、私も私の地元に近いところを回りまして、いろんな市民の皆様からの声として、正直言って一番近いところではこの問題が一番多く質問として、どうなるのか、いつできるのかが全く分からないんだけど、アナウンスもないし、そういった情報も入ってこないんだけど、どうかしてくれんかね、何か方法はないかねということを言われました結果として、県のほうからこういった説明を直接していただくような形ってなかなか難しいのかなというふうに考えた結果として、この場で質問をさせていただき、管轄外ではございますけども、対馬市の方からの回答をいただければという形で今回質問をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

②といたしまして、同じ内容なんですけども吹崎加志間のトンネル工事につきまして、現在の進捗状況と完成、開通の見込みについて、分かる範囲で結構ですので教えていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

続きまして、箕形縣ノ浦圃場への海水流入の件についてということですけども、これも、今回、3点ともどちらかというと身近なところでの私の日々の生活圏での問題点を今回質問させていただくような形になっておりますけども、やっぱりこれも身近なところでいろんな方々と日頃接する中で、非常に問題視はしてるんだけどなかなかその声が届いてないという現状がありましたのでこれも含めて質問させていただくことにさせていただいております。よろしくお願いいたします。

令和4年の7月19日だったと思うんですけども、水害により大水が出まして、海岸保全護岸、一般的に言うと防波堤みたいな状況になっているんですけども、その一部が崩壊し、その後、令和5年度に護岸の復旧工事自体は完成はしていただきました。護岸自体は崩れて、それが復旧して、完全に海水の流入が止まるものと私も思っていたんですけども、結果的にそれが流入が全く止まらないというような状況が発生し、その後、また再度、対馬市及び長崎県の範疇もありますので、そういったところといろんな協議を進めてまいりました。それが令和5年の9月ぐらいからその協議を始めさせていただいて、いろんな角度から検証をお願いはしているんですけども、まだまだ今の状況ですと海水が田んぼの方に流入してくるような状態が大潮また月によっても大潮の高さが変わってきますので、特に3月とか8月とか、そういった時期にはもう完全に海水が入るという状況がまだ改善されておられませんので、その件について質問をさせていただきたいと思っておりますので、その状況と今後の対策についてお伺いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

○議長（春田 新一君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 佐伯議員の質問にお答えいたします。

初めに金田城の駐車場不足解消に向けた取組についてでございますが、金田城跡は我が国最古の官撰史書である日本書記にその名がある国を代表する史跡として知られております。美津島町黒瀬及び箕形地区に所在する金田城跡は、西暦667年に築かれたことが日本書記に記されており、西国防衛の最北端に築かれた金田城跡の重要性と遺構の良好な遺存状況に鑑み1982年3月23日に特別史跡に指定され、現在に至っております。

御質問の駐車場についてでございますが、金田城跡登山口周辺には、一般的に認識される駐車場はありません。現在は、登山口前に軽自動車で5台程度、トイレカー周辺に数台駐車スペースがございます。さらに登山口手前数百メートル付近にも複数台駐車可能なスペースがあります。これらは全て未舗装部分であり、これまで駐車場として整備した実績はございません。管理面におきましては、定期的に巡視を行いリーフレットの補充、側溝及び路面の状況確認を実施しております。風雨が強くなれば落石も倒木も発生するため、定期的に除草、路面清掃も実施しております。金田城跡の来訪者は近年増加傾向にありまして2018年に続日本百名城に認定され、城郭スタンプを求め城愛好家が訪れるようになり、2019年9月に日本最強の城スペシャル、2022年10月にブラタモリで放送され、個人客はもとより観光バスで団体客が訪れるようになり、旅行パック商品としても定着しているようでございます。そのような状況から駐車とアクセス道路であります林道城戸線は停めにくく離合できないこともあることも認識しております。

私自身、これにつきましては、何とかしてこの駐車場をつくりたいということでいろいろ努力をしておりますけれども、この特別史跡ということで、なかなか実現に至っていないというのが実情でございます。そういうことでございますのでよろしくお願いをしたいと思います。

次に、金田城及び白嶽登山における遭難等に対する安全対策についてでございますが、まずは、金田城跡についてお答えいたします。先ほど答弁したとおり、金田城跡は近年テレビ番組等で紹介され、知名度が上がり、来訪者は増加しております。金田城跡では過去3年間、対馬南警察署及び対馬消防本部に遭難通報はあっておりますが、昨年9月、文化財課に他県から訪れた観光客から道に迷ったと連絡がっております。急遽職員が駆けつけ山中で合流し、宿泊先まで送り届け大事に至っております。その後、道に迷った箇所にルート表示板を設置し、改善を行っております。

また、現地では、2箇所にリーフレットボックスを設置し、登山口までの車両通行注意点と城内のルート案内の周知を行い、来訪者の利便性向上に努めているところでございます。

次に、白嶽登山でございますが、対馬南警察署及び対馬消防本部への聞き取り調査では、遭難通報は令和5年度に3件、令和6年度は2件で、いずれも適切に救助されております。なお、遭難時の通報に関連しまして、金田城跡及び白嶽登山道では場所によっては携帯電話の通話が困難

な環境にあり、課題はあるものと認識しております。しかしながら、携帯キャリア各社は人口密度や通信需要などの基準等により、基地局の整備をなされておりますので、今後、金田城跡及び白嶽全体が通話可能なエリアとして整備が進むかどうかにつきましては大変厳しい状況であろうと推測しております。このため来訪者の安全対策として金田城跡ではリーフレットと案内板による注意喚起を継続してまいります。

次に、白嶽登山では、昨年の11月に対馬観光物産協会、対馬南警察署、市の3者及び登山ガイドが合同で白嶽登山道の安全対策を含む現地確認を行い、登山ルートを見失うことがないように、木製の目印や登山ルートを示すルートリボンを新たに設置しております。

また、ヤママップ登山アプリは、携帯がオフラインでも事前に登山ルートをダウンロードすることで、現在地を確認しながら、安全な登山ができるため、対馬観光物産協会ホームページ、空港、港でも既に周知を図っておりましたが、本年4月から運用を開始した対馬観光デジタルマップにおいても、登山アプリの利用を周知しております。

金田城跡、白嶽登山のいずれも現地を訪れる前に情報を入手することが重要なため、遭難等を防止するための注意喚起と、周知広報に力を入れてまいります。また、昨年の12月に設立された対馬エコツーリズム推進協議会のトレッキングガイド部会においても、今後安全対策等の検討を行っていく予定でございます。今後とも対馬観光物産協会、市及び関係機関が継続して連携を図り、さらなる安全対策に取り組んでまいります。

次に、県道24号線の箕形から吹崎間、吹崎から加志間のトンネル工事についてでございますけれども、御質問の県道24号線のトンネル工事の所管は長崎県であり、回答につきましては、対馬振興局からの聞き取りとなりますことを御了承願います。本路線は、生活道路及びマグロ養殖等における運搬路として重要な路線であります。幅員狭小でカーブが多く見通しが悪いため、車両の離合に支障を来していることから、安全で円滑な生活道路の確保及び産業支援を図るために整備を行っているところであります。

1点目の箕形から吹崎間の道路工事についてでございますが、現在の進捗状況としましては、トンネルの照明設備、非常用設備等の設置工事及び取付道路の工事に着手しております。開通予定につきましては、残る工事の進捗によるところが大きいことから、現段階では、明確な回答はできないとのことでございます。また取付道路の設置につきましては吹崎側の坑口から吹崎地区へ流れる河川沿いに設置し、現在の県道へ接続する計画となっております。

2点目の吹崎から加志間のトンネル工事につきましては、トンネルを含む工区全体の用地買収に今年度から着手するとのことであります。開通の見込みにつきましては、用地買収の進捗を考慮しながら、工事に着手予定であるため、開通の見込みは現在のところ未定とのことであります。県といたしましてもこのトンネル工事の完成を地域の住民皆様が待ちわびていることは承知され

ておりますので、早期完成を目指し努力しているとのことでございます。また、今後の供用開始や完成期日などの情報の提供につきましては、可能な限り情報を提供していただくよう、対馬振興局へお願いしていきたいと考えております。

最後に、箕形縣ノ浦圃場への海水流入の件についてでございます。御指摘の水田は、箕形地区で組織されました組合により耕作されている12筆からなる約2ヘクタールの水田で主要地方道沿いにあり箕形地区の湾に面した県の海岸保全護岸の背後地となっております。護岸と水田の間には潮溜まりがあり、その排水用のボックスカルバートと水田の横を流れる普通河川の河口の2か所に海水の流入防止用として潮位の干満に伴って開閉するフラップゲートを市が管理しております。

令和6年9月の一般質問におきまして、大浦議員より同様の質問があり、その際に答弁いたしましたボックスカルバートの修繕は、県が10月に実施し、フラップゲートの修繕は市が12月に実施をいたしておりますが、現地調査や聞き取り調査などを重ねたところ、まだ補修が必要な箇所があるため、市が管理するフラップゲートにつきましては、再度修繕の依頼を行っております。県管理部分のボックスカルバートにつきましても県に修繕を求めてまいります。今後も、現地の状況を注視しつつ、耕作再開に向けて県と連携してまいります。

以上であります。

○議長（春田 新一君） 6番、佐伯達也君。

○議員（6番 佐伯 達也君） 市長どうもありがとうございました。それでは、まず1点目のところから確認をさせていただければと思いますけども、実際今ある程度の車を止めるスペースはあるのは現実なんですけども、やっぱりいっぱい週末とかさっき言ったような形で多い時には確保できない、やっぱり危険な状態も発生するということで、市長も言われましたように確保することにいろんな手立てはしたけども今のところその確保に至ってないということで、今の現状のようなんですけども、今の現状、多分市長も御存じだと思うんですけどもトイレカーの向かい側に元々はどうも田んぼか何かだったみたいなのところがあるんですけども、そこをどちらかというとスムーズに車を止めるようなことが可能な状況にはあるようにあるんですが、そこには地権者がいらっしゃいますので、そことの協議は必要になるかと思っておりますけども、そことの協議と、現実、私も先日現場を確認はしたんですけども、非常に石がごろごろしておりますのでそういった石を取り除き、若干車の出入りをするような部分さえ若干手を加えれば駐車スペースとしては使用することが可能なような状況に素人目に見ると見えるんですけども、そういったことが現実に国指定の特別史跡であるということは私も小さな頃から理解はしておりますけども、そういった若干の変更も難しい状況にあるのかどうかお聞きしたいと思いますけどもよろしいでしょうか。

○議長（春田 新一君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） ここにつきましては、先ほども答弁の中で私も申し上げましたように、私自身も何とかこの整備をしたいと。まずトイレをつくりたいと言っても、トイレも許可ができないといったようなことで、何とか、じゃあ、トイレカーなら問題ないだろうというようなことで、あそこにトイレカーを置かせていただいた次第であります。実は、ここにつきましては、長崎県の前の知事であります中村知事も県道からこの登山入り口のところまで道路、林道を広げてはどうかということを盛んにおっしゃっていただいております。そこで、県の文化財課とか、いろんなところにしたんですけど、なかなか県知事が言ってもそれがやっぱり特別史跡といったようなことで、実現には至らなかった経緯がございました。そういう中で、本来であればこのような現状を改善するためには保存管理及び整備活用計画という策定が必要だということなんですけども、これをすれば何とかなるのかなといったことで、市といたしましても何とかこれを早くやりたいとしているんですけども、今現在、越高の遺跡がやはり指定を受けましたので、こちらのほうを先に保存計画をしております。

そしてその後、金石城跡、また金石城庭園の整備事業のほうも着手しておりますので、まだまだやるにしても先になろうかということで、ちょっと今すぐ何年からやれるということは言われない状況でございます。ただいろんな関係で私も事故が起きた場合、何とかこれ事故が起きる前に何とかせんばいかんという思いを常々持っているんですけども、そういった状況で国指定の特別史跡ということで、この史跡指定が本当に大変だなという思いを持っているところでございます。

以上です。

○議長（春田 新一君） 6番、佐伯達也君。

○議員（6番 佐伯 達也君） ありがとうございます。市長が言われるように国指定特別史跡というところで、いろんな法律でがんじがらめの状態だということは理解はしてはいたんですけども、今の現状の中であのところ駐車場として本当に原っぱの状態なんですけども、その状態を若干石がごろごろしてますのでその石を動かすこと自体が難しいということも含めて言われているのかどうか分からないんですけども、そういった若干の手を加えることさえも難しい状況であることがそういう特別史跡なんだよということになるということなんではないでしょうか。それとも、ただ手続上の順番があるんで、今のところそれはすぐにはちょっと手がつけられないんだよということなのか、いかがでしょうか、すいませんが。

○議長（春田 新一君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 私も詳しくはないんですけども、文化財課の職員等に聞いた中でも、ただ特別史跡ということで、本来であれば木一本を切るにも許可がいるというようなことで、私であれば、議員がおっしゃられる元田んぼのところは埋め立ててありますから、ちょっと石ころ

を拾えば、あそこは十分駐車場になるものと認識はしておりますけども、ただ、市としてそれができないというようなことでございます。

○議長（春田 新一君） 6 番、佐伯達也君。

○議員（6 番 佐伯 達也君） ありがとうございます。いろんな問題もまだまだあるようですので、その辺も含めてまた担当の部署とも、今後私のほうとしても協議を、お話を詳しく聞いてみて、また可能性を探っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

続きまして、金田城と白嶽においての電波が届くか届かないかということが最終結論なんですけども、いろんなところに私も確認をいたしまして、そういう結果からいいますと、いろんな意味で行政、いろんなところからの申出があればその検討をいたしますし、特にこれは a u さん、対馬にも 3 キャリアがありますので 3 キャリアを含めてちょっといろいろと調べてはみましたけども、a u さんであれば、今対馬のほうにも 3 か所スターリンクを設置しているという状況があるそうです。その定期的な検査もメンテナンスもある業者がしているということで、まず、私もスターリンクという形での電波の確保ができないのかと思ったんですけども、現実的に対馬にスターリンクを再度追加で設置するような計画はもうありませんというような形の方向性だということでありましたので、それは難しいのかなと思ひまして、いろんな意味で電波改善要望という形で携帯キャリアの各社はいつでも受け付けておりますよということで、そんな山のような場所でもそういった要望が通るんですかということを確認しましたら、結構通ってますよと。そういった結果として、先ほども警察のほうで資料を出してるんですけども、その中にありまして、日本全国で山岳の遭難件数が令和 5 年までの資料しかなかったんですけども、件数が 3, 1 2 6 件で遭難者数が 3, 5 6 8 名いらっしゃるということでした。その中に通信手段の使用状況というものがありまして、結果的に携帯を使ってその救助要請をしたという割合が実は 7 5 % もあるんです。私逆に言うと電波の届かない場所は 2 5 % しかなかったというようなことが警察のほうの資料で出ておりました。ということは対馬の今の白嶽と金田城の状況からしますと、私も私だけの主観でどうかなと思ったのでちょっと何人かの方に聞いてみたんですけども、7 5 % が電波が通じるような状況にあると思いますかというのと、逆じゃないですかと。私も本当にちょうど逆ぐらいかなと 2 5 % ぐらいの部分が電波が届くような形であり、7 5 % は届かないんじゃないかというような状況である状況のような、これは確定数値ではございませんけども、そういったイメージを持っている方がいろんなガイドをするとか、山に携わっている方からの声ですので、そういった大きな間違いではないのかなというふうには感じておりますけども、そういった状況でありました。ですから、できれば行政のほうからも、電波改善要望という形で出していただければしっかり検討をし、進める可能性は十分ありますよということのを完全な a u 本体ではないんで

すけども、a uの仕事をしている業者の方からはそういった形で進むことはよくありますよというような回答をいただいておりますので、もし可能であれば、そういった要望を出していただければと。いろんな形で過去に白嶽で遭難がありましたときにも、私たち正直言っただ元の消防団ですので消防団としての出動もいたしました。何日も続けて出動をした、いろんな形で非常に消防団だけではなく、消防署、警察、自衛隊、消防団という形でとてつもない人数の方たちが一斉にそういう捜索をするという結果を何度か私も経験しておりますので、そういったことがあることは最終的には行政にとってもプラスになることじゃないかというふうに認識しておりますので、そういった可能性を上げる形を取っていただければ非常に助かるかなと思いますのでよろしくお願いいたします。

この件につきましては以上で終わらせていただきます。

続きまして県道24号線の箕形吹崎間のトンネルの件ですけども、この件に関しましては今、市長のほうから聞き取りでの説明しかできませんよということで、それも当然そうだということ認識しておりますので全く問題ありませんが、あくまでも本当に市長も地元の方々の悲願であるというような表現をしていただきました。全くそのとおりなんです。今でもあの道を通ったことがある方は皆さん御理解いただけたと思いますけども、本当に、対馬でもまだこんな道あるのかというような道路が生活道路として今でも残っておりますので、そういったことを、それが改善されるということを皆さん非常に待ちわびておりますので、この場で行政の方、皆さん御存じだと思いますけどもこの場でいろんな意味でいろんな角度から市民の皆様にもそういった状況のところもあり、また対馬の中にはほかにもそういった部分あると思います。そこにはいろんな意味でやっぱり優先順位という形でそういう改善が進んでいるとは思いますがそういったところのいろんな現場、市民の声を1つずつ拾っていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

それとまた、今のところいろんな完成についての予定は未定ですということではありますけども、当初工事に入るときに説明を受けたのが、私が令和4年の11月に業者、奥村組を筆頭とするJVでの業者でしたけども、そういった形で地域のほうに説明に参りますということで、説明をいただきました。そのときの説明では令和5年の3月頃から、掘削というかトンネルを掘るための準備を始め、5月、6月ぐらいから実際に掘り始めたとは思いますが、1年ぐらいをかけてその掘削、貫通までの時期を要し、その後1年ぐらいをかけて令和7年の4月には開通する予定ということです。私たちは実はそのときの地域に対してのいろんな説明にこられたときの資料も私も持っておりますしその後も進捗状況についての書類も奥村組、業者のほうからはいろいろいただきましたので、そういったものもしっかり保存をしておりましたので、それはあるので、それ自体は間違いはないと思うんですけども、その後、いろんな事情があつて、結果的には

遅れてきたのかなというふうなところはいろんな問題があるのかなというところは若干全ては理解できませんけども、何かあっているんだなというようなことも見聞きすることはあるんですけども、そういったことが全く地域に対してしっかりと説明もなければ、私とかはいろんな意味で自分から情報を取りに行ったりすることがあるので分かる部分はあるんですけども、やっぱり地域にずっと通常の生活をしている方々にとっては、そういった情報もなかなか入りにくいという状況はありますので、それは県の工事であるからということもあるのかもしれませんが、市のほうにも、もしかしたらそういった状況があるのであれば、そういったところは行政としてしっかりと気をつけて今後も進めていただければと思いますのでよろしくお願いをいたします。

それでは、これについても終わらせていただきます。

続きまして、3番目の箕形縣ノ浦圃場への海水流入の件についてということですけども、この件が1つ市長にもお聞きしたいんですけども、私、実はたまたまその令和5年が地区のほうで区長という立場でありまして、区長としていろんないきさつの中で、区長として要望書を出してくれないかというようなことに最終的になしまして、要望書を提出をさせていただいておりますが、その要望書があること自体は御存じかなと思って、ちょっと御存じでしょうかということをお伺いしたいんですけども、よろしいでしょうか。

○議長（春田 新一君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 要望書自体は写しでございますけども、私の手元にもまいっております。

○議長（春田 新一君） 6番、佐伯達也君。

○議員（6番 佐伯 達也君） ありがとうございます。これは結果からいうと、当初、護岸が壊れて、護岸に関してはすぐ災害ということで県のほうの対応が決まりまして、私どもからすると、結果からいうと速やかだったんだろうなと思うんですけども、しっかりと予算を取っていただいて修復ができ、今完成してそこからの海水流入というのが全くゼロかということと分かりませんけども多分ない状態には復旧できたのかなというふうに感じております。

ところが、県の範疇のボックスカルバートの部分と、市の範疇のフラップゲートの部分というところが、市のほうに関しても県のほうの範疇にいたしましても若干の工事はしていただいたのは理解をしております。ところが、海水流入がその奥にあります田んぼのほうに、田植えをできるような状態まで海水が入ってこない状態が確保されたかということ、そうではない状況がずっと続いているという状況がありますので、その辺に関して現状の市のほうとしての認識がどういう状況にあるかということを確認したいんですけども、よろしいでしょうか。

○議長（春田 新一君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） ちょっとそのところについては担当部長のほう詳しいと思います

ので、担当部長のほうからお答えいたします。

○議長（春田 新一君） 農林水産部長、平川純也君。

○農林水産部長（平川 純也君） お答えいたします。

今後の対応策につきましては、まず対馬市管理のフラップゲートにつきましてはパッキン部の補修工事が必要ということで、これにつきましては業者に現地確認を依頼した上で早急に対応する計画としております。それから、ボックスカルバートにつきましてもこれは県の範疇になると思いますけども、令和6年の10月に一旦補修をしていただいておりますけども、現地を確認させていただきますと、まだ不足の箇所があるということは聞いておりますので、これにつきましても、県とそれから地元の皆様と立ち会いをさせていただいた上で必要な補修工事を速やかに行けるよう、県と調整をしてまいりたいと思っております。

それから、恐らくこれで若干の効果は期待できるかと思うんですけども、なかなか抜本的な解決というのが難しいようであれば、並行して、海岸保全施設背後の用悪水路の部分ですね、これにつきましてはその潮溜まり部として地権者であります箕形地区自治会、これ、10名共有だろうと思っておりますけども、この辺と協議をしながら、例えば公共残土を投入をして海水の侵入を遅延させるというようなことも含めて、幅広く検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（春田 新一君） 6番、佐伯達也君。

○議員（6番 佐伯 達也君） ありがとうございます。実は、今の説明だけでは今までの経緯が全く分からないと思うんですけども、実際、市のほうにもフラップゲートの範囲なんですけどもフラップゲートに関しては修理をしていただいたんですけども、その修理をした後多分何か月かしたらすぐそれが機能しない状態になってしまったのが現状で、それに対して再度修理をしますよということですので、その状態、また同じことが繰り返されないようにはしていただきたいというふうには切に要望いたします。それと、県のほうの範疇のことをここで話しても難しいと思うんですけども、県のほうの範疇も私ども、地元として原因がどこにあるのかということをしつかりと伝えたつもりだったんですけども、その伝えた状況に対しての施工が現実的にはなされなかった結果として、今の状況があるのかなというようなことを感じているのが現状でありますので、そういった中でやっぱりいろんな現場の声とのすれ違いがあったりすることはそれはどこにもあるとは思いますが、できればそういったことができるだけ少ないような形で、今後いろんなことを進めていただければと思いますので、よろしくお願いをいたします。

今後、しっかりと進めていただくいろんな形の検討もしていただいているということでしたので、しっかりとそれを一緒に協議をしていただいて進めていただければと思いますので、よろしくお願いをいたします。

ちょっと話は変わりますけども、一般質問の初日の日、陶山議員のほうも話をされましたけども、私も子どもを子育て、対馬高校の寮の話をされたんですけども、あの話実は私も同じタイミングで同じ話を聞きまして、本当に今の対馬高校の現状、対馬高校、子供たちに関わる場所、いろんな問題がある、先ほどの東議員の話もありました。いろんなこと、問題があります。そこには、行政側からするとしっかりと予算との優先順位ですと、それも当然分かりますので、そういう中で、やっぱり行政の仕事として何が一番大事なところであり、私たち議員として本当に何が必要なのかということは緊張感を持ってという言葉をちょっと最初に話をさせていただいたんですけども、そういった中で本当に何が正しく何が今優先順位として正しいのかということをしつかりと議論しながら、ここで対馬市民のためということをここに在る議員の方たちみんなそれを背負ってここに在ると思いますので、そういったものをしつかりとここで協議ができる関係をしっかりと保ちながら、よりよくするための対馬市をつくっていくための場ということを認識して、私としてもこの4年間、基本的には4年間あると思いますので、4年間を頑張っていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

ということで私の一般質問を終わらせていただきます。今日はどうもありがとうございました。

○議長（春田 新一君） これで、佐伯達也君の質問は終わりました。

○議長（春田 新一君） 昼食休憩とします。再開は午後1時5分からとします。

午前11時53分休憩

午後1時05分再開

○議長（春田 新一君） 再開します。

午前に引き続き、市政一般質問を行います。12番、黒田昭雄君。

○議員（12番 黒田 昭雄君） 皆さん、こんにちは。公明の黒田昭雄でございます。

質問に入ります前に一言、先の対馬市議会議員一般選挙におきましては多くの皆様から御支持をいただき、当選することができました。この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

この選挙、3位でありましたけれども、大変厳しい選挙を感じました。傍聴、今、お一人いらっしゃいますけれども、新人の皆様には多くの傍聴が来ていただいております。それぐらい新人にものすごい支持が集まった、そういう選挙であったと思います。

市長もおっしゃいましたけれども、議会を変えてほしいと、それは私も強く感じたところでありまして、与えられた4年間しっかりと頑張っていきたいと思っています。

それでは、通告に従いまして、市政一般質問をさせていただきます。3点質問をさせていただきますけれども、1点目と2点目については選挙公約と言ったらちょっと恥ずかしいんですけれ